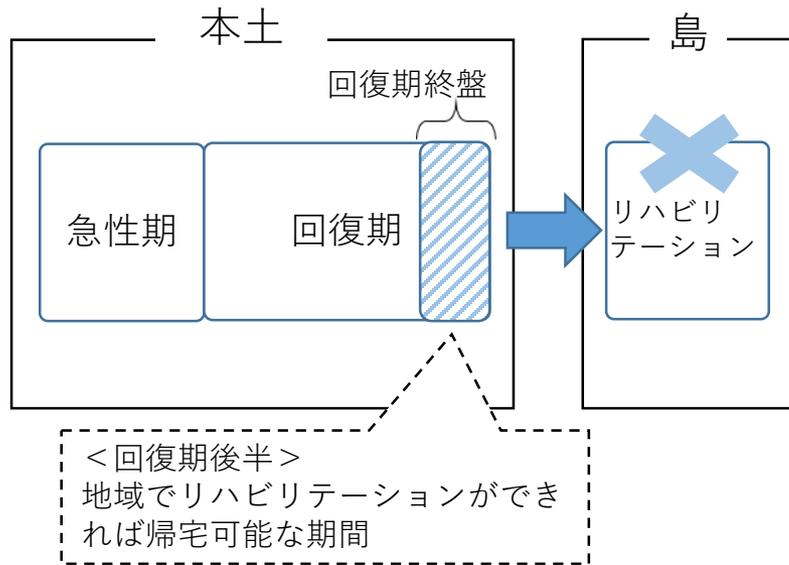


島しょ地域におけるリハビリテーションの状況と将来像（案）

- 島しょ地域の高齢化や核家族化は深刻で、患者の急性期治療後の対応が一層求められる。
- 急性期治療後の回復期リハビリテーションは、その後の患者のADLに大きく影響するが、島ではリハビリテーションを行える施設が限られているため、本土の医療機関での入院が長くなる場合や、リハビリテーションが不十分なまま帰島する例がある。

急性期治療後の島しょ地域の患者が住み慣れた島に、安心して、早期に帰島できるよう、島しょ地域のリハビリテーションに関する課題や対応について検討を行い、支援体制の確保を図る。

現状



将来

